

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス なないろ行徳		
○保護者評価実施期間	2025年 4月 10日		2025年 4月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	2025年4 月 10日		2025年 4月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 5月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	室内の広さが十分にあり、児童の特性やプログラムに合わせたスペースの確保が容易である。	・運動スペースと学習・課題スペース・休憩スペースもある事で、活発な児童も集団や雑音を苦手とする児童にも、それぞれに合わせた個々の居場所を提供できる。	・広さが十分にある反面、職員が目が行き届かない死角がでやすい環境なので、事故・トラブルのないように更に環境整備や対策をおこなう。
2	保護者様から相談の受けやすい環境の整備をしている。	・管理者・児発管も送迎の担当や同行を行う事で、保護者様との連携が取りやすく、希望によりLINE連携もしている事で常に連絡を取れる体制を整えている。	・相談内容をもとに家族支援や専門的支援にもつなげる。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者に対する、非常時(緊急時・感染症等)の対応に関する周知・発信の不足がある。	・対策マニュアルの作成・HPでの公開と手紙の配布をする事で周知・説明を終えてしまう。	・保護者様に対しては、口頭でもマニュアルの変更があった事や、周知していただきたい事を定期的にお伝えする。
2	公園外出や施設体験等の外出活動が少ない。	・マンツーマン対応を必要とする児童が多く、安全対策やトイレ対応等に不安が多い。	・臨時の職員応援を要請したり、事前に施設側等に問い合わせる事で対応策や危機回避策を立て、外出や施設体験の機会を増やせないか検討。
3			